

# 第五章 開かれた市民主体都市

## 新総合計画を策定 市民ニーズに基づく



芸術文化ホールの検討ワーキング委員会で、施設のあり方について意見交換

市政情報を適切に提供し、市民のみなさんの声をお聴きしながら、市政運営を進めていきます。また、行政改革にも積極的に取り組み、簡素で効率的、かつ創造的な行政運営をめざします。

新しい時代にふさわしい、市民ニーズに基づく第九次秋田市総合計画を策定します。

費用効果を考えた事業展開を進めるため、事業のコスト、成果などについて現状分析と評価を行う、行政評価の手法を新たに検討します。

町内自治活動や町内街灯維持管理への助成などを行い、町内自治組織との円滑な意思疎通に努めます。

コミュニティセンターや福祉施設などの複合的機能を持つ中央地区シビックセンターの基本構想を策定します。

### 「女性の人材リスト」で積極的な社会参画を

男女共生の視点を各種事業へ反映させるため、「パートナーシッププラン」を改訂します。また、新たに「女性の人材リスト」を作成し、審議会などへの積極的な登用など女性の社会参画をはかります。

昭和二十六年の創刊号からの広報あきたや広報写真をデジタル化保存し、貴重な資料を後世に残します。

移動市役所、対話集会、市政モニターなどを通じて、市民のみなさんから広く意見、要望、提言をお聴きし、市民の声を市政に反映させます。

情報公開制度を適切に運用しながら、積極的な情報提供につとめます。

## 市営ガス事業を民間移管へ

.....  
東部ガスと基本協定締結

秋田市は三月二十七日、東部ガス(株)と「ガス事業譲渡に関する基本協定」を締結し、来年四月の予定で市営ガスを民間会社へ移管することで合意しました。



基本協定の調印式で、穴水龍雄東部ガス社長(右)と石川市長が握手

市営ガスの民間移管は、より望ましいガス事業のあり方を考え、行政改革の一環として検討